

東北中央病院 外科(消化器・乳腺外科)

所在地 山形県山形市和合町 3-2-5

☎ 026-623-5111

スタッフ 斎藤善広副院長・外科部長(消化器外科☆、乳腺外科☆)、武藤大成手術部部長(消化器外科一般)、浅沼拓医長(消化器外科一般☆、内視鏡外科)、堀越章医長(消化器外科一般☆)、土原一生医長(消化器外科一般☆)の常勤医 5 人。

特色 「心温かい信頼の医療」をモットーに、患者に優しく早期社会復帰を目標とし外科治療、化学療法を行っている。特に手術において「小さな傷の外科」を目指し、早期より腹腔鏡下手術を積極的に導入し、09 年には消化器疾患手術の約 75%に腹腔鏡下手術を行っている。

症例数・治療・成績 09 年の年間手術数は 309 件。()内は腹腔鏡下手術件数。胃がん手術 31(19)件、結腸がん手術 33(25)件、直腸がん手術 19(19)件、肝臓がん 5 件、胆嚢摘出術 39(39)件、総胆管切石術 15(9)件、虫垂切除 17(17)件、腸閉塞 4(2)件、脾摘出 1(1)件。その他、乳腺、一般外科として乳がん手術、胸腔鏡下肺切除術、鼠径ヘルニア手術、痔核手術を行っている。放射線科の協力のもと、術前 3DCT ナビゲーションを行い、手術の正確性・安全性を高めており、また夜間休日の臨時手術においても腹腔鏡手術が可能な体制である★胃がん術後成績：Stage Ia：96%、Ib：88%、II：81%、III：51%、IV：18%。大腸がん術後成績：Stage I：95%、II：82%、III：74%、IV：21%★また、院内で多職種を交えた抗がん剤治療チームを作り、原則として EBM に基づいた抗がん剤治療を積極的に行っている。進行胃がん症例では十分なインフォームド・コンセントを得られた場合に術前抗がん剤療法を行い良好な成績が得られている。進行再発大腸がん症例では分子標的薬も導入し、患者の個別化も図っている。外来化学療法室を活用し、患者の QOL(生活の質)の向上を目指している。

医療設備 MRI、MDCT、血管造影装置、DSA、ハイビジョン腹腔鏡下手術装置、超音波、マンモグラフィ、マンモトームなど。

外来診療 月～金。受付は午前 8 時 30 分～11 時 30 分。ただし、急患は随時診察。斎藤=月・金、武藤=火・木、浅沼=水・金、堀越=木。

セカンドオピニオン受入



主治医指名



執刀医指名



初診予約

